

柳井医療圏地域医療構想調整会議（令和3年度第1回）議事概要

【日時】 令和3年9月7日（火）～9月24日（金）

【開催方法】 書面協議

【議事内容】

○ 国の動きを踏まえた地域医療構想の進め方や調整会議の開催方針等について書面で説明を行った。

○ 書面協議結果

1 令和3年度地域医療構想調整会議について

資料1により、医療法の改正をはじめとした国の動きを踏まえた地域医療構想の進め方や調整会議の開催方針、医療法上の調整会議の位置付け等について書面で説明を行った。

（主な意見・質問等）

- 新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえた今後の医療提供体制の構築については、稼働していない病棟をコロナ対応に活用するなどの取組をするほか、病床等を確保する医療機関の負担軽減のため、税制優遇等の支援を検討してほしい。

2 令和元年度病床機能報告結果について

資料2により、各医療機関における病床機能報告結果について書面で説明を行った。

（主な意見・質問等）

特になし

3 令和3年度基金事業について

資料3により、病床機能再編支援事業及び医療機能分化連携推進事業について書面で説明を行った。

（主な意見・質問等）

特に意見・質問等はなし

4 山口県外来医療計画に係る報告について

資料4により、医療機関の医療機器の共同利用計画について書面で説明を行った。

(主な意見・質問等)

特に意見・質問等はなし

5 周防大島町病院事業局からの意見照会について

資料5により、周防大島町病院事業局の第1期再編計画に関して、新型コロナウイルス感染拡大による東和病院（コロナ患者入院協力医療機関）の経営への影響及び人員不足により休床している橘医院の病床について書面で意見照会を行った。

(主な意見・質問等)

(1) 東和病院の経営について

- 柳井圏域でコロナ患者を受け入れられるのは、周東総合病院と東和病院しかなく、今後の感染状況を考えると現状の病床数の確保は必要であり、そのための補助金や診療報酬の見直しが必要なのではないか。
- コロナ患者の受入れのための空床確保が経営の負担になるなら、現実問題として考えねばならないが、公立病院としての性格や役割も重大である。

(2) 橘医院の病床について

- 入院患者を大島病院、東和病院でカバーできるのであれば、橘医院を無床診療所にしてもよいと考える。
- 看護職員を分散させず、本来の機能が維持継続できる体制を集約させることも必要だと考える。

(3) その他

- 周防大島町病院事業局の経営は危機的状況だが、病院事業局の再編計画等のスケジュールが非常に遅いと考える。